

5.4.4
1110

あかつて不景気に耳は、やれ産業合理化だのやれ事業縮小だのと、時間延長や賃上げ、首切りで俺達労働者に尻ぬぐいをさせようという、まじり資本家にとらえられ、俺の会社は大きいから大丈夫だなどと油断してゐる中に、バツナリ来るぞと、芝浦を以てろ、ドックやセネラルモーターを見ろ、直先に産業合理化の血祭りに出され、は大会社大工場ばかりだぞ。兄弟！起つのは今だ！と芝浦の戦つてゐる兄弟を、殺にするぞ！と芝浦争議の勝敗は、俺達金属労働者が、今迄よりもモソトと、分極化シテアリ殺されるかどうかのわかれ道だ。俺達はどうしても勝たせなくちゃならぬ。諸君は、よく従業員大会や職場大会を闘いて全従業員から選んだ争議応援委員会を、らう。芝浦の兄弟に基金と斗士を送らう。そして俺達自身不平や要求を、芝浦労働者に叩きつけてストライキで芝浦を応援しろ！芝浦の争議を全金属労働者が、で勝たせろ！サア兄弟！同志諸君！今こそ起つ時なのだ！

- ▲資本家的産業合理化による首切り・賃下げ・時間延長絶対反対！
- ▲賃銀三割速時値上げ！
- ▲退職手当解雇手当の制定！
- ▲全従業員代表の争議応援委員会を作れ！
- ▲全金属産業のゼネスト万才！
- ▲金属労働者は日本金属労働組合へ！

全協日本金属労働組合東京支部(旧岡東金属)芝地区委員会

普救第九六八號

昭和五年四月一日 普視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達 謙藏 殿
社 會 局 長 官 殿
各 廳 府 縣 長 官 殿

芝浦製作所東京工場
争議解決後ノ状況ニ関スル件

芝浦製作所東京工場ノ争議解決後ノ状況ニ関スル件

要旨
○争議打切聲明書ヲ發表ス

○ニ歩給者ハ更ニ増收促進運動ヲ開始ス

標記工場ニ於ケル勞働争議解決後ノ状況ニ就テハ既報ノ處其後ノ状況左記ノ通